

子どもを守る交通安全対策実施事例集



令和2年12月

静岡県通学路交通安全プログラム

はじめに

静岡県では、平成 26 年度に県内 30 市町と合同で「静岡県通学路交通安全プログラム」を策定し、教育委員会、警察及び道路管理者が連携のうえ、通学路の交通安全対策を継続的に実施してきた。

その効果もあり、交通事故による県内の死者数は、最も多い昭和 41 年には 716 人であったが、令和元年の死者数は 101 人となり、統計が残る昭和 28 年以降最低となった。また、人身事故件数についても年々減少傾向である。

しかし、人口 10 万人当たりの人身事故件数は、静岡県が平成 29 年から 3 年連続全国ワースト 1 となる等、他の地域より事故の発生する割合が高い状況である。

特に、過去 10 年（平成 22 年～令和元年）における歩行者の年齢別死傷者は、7 歳を中心に 5 歳から 9 歳が突出しており、そのうち登下校時に事故に遭うケースが多いことから、さらなる通学路等の交通安全対策が求められている。

そこで、今後、通学路における危険箇所の点検時等において、速やかに効果的な対策を立案する際の参考とするため、子どもを守る交通安全対策の実施事例集を作成した。

本事例集は、これまでに県内の道路管理者が実施した通学路や未就学児の移動経路における交通安全対策の事例について、効果別、短期・中長期別に整理している。

県内の通学路においては、本事例集の活用等により、継続的に効果的な交通安全対策のさらなる推進を図っていく。

目次

1 一般部における対策

(1) 安全な歩行空間の確保

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 中長期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

(2) 自動車に対する注意喚起

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ② 中長期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

(3) 自動車の視認性の向上

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

(4) 自転車と歩行者の接触防止

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

2 交差点部における対策

(1) 安全な歩行空間の確保

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ② 中長期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

(2) 自動車に対する注意喚起

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

(3) 自動車の視認性の向上

- ① 短期対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

3 道路管理者以外の交通安全対策実施事例一覧・・・・・・・・・・ 31

参考資料 1 静岡県の小学生歩行中事故 ～登下校中の交通事故を防ぐために～

参考資料 2 【抜粋】信号機撤去後における安全対策事例集
～信号機の合理化を的確に進めるために～

1 - (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（町）見高浜線（河津町見高）交通量50台/日程度

伊豆今井浜病院ひまわり保育所に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月25日）
（合同点検参加者：保育所、下田警察署、町建設課）

問い合わせ 河津町建設課
TEL: 0558-34-1952
MAIL: kensetsu@town.kawazu.shizuoka.jp

●具体策

草刈りの実施

事業費	工事開始年度	工事終了年度
0円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

路側帯が草でおおわれていたため、園児が歩行する際に車道にはみ出して歩く必要があり、車との接触が懸念されていた。路肩の草がなくなったことにより、路側帯の幅員が確保され園児が通行しやすくなった。

●苦労した点、工夫した点等

道幅が広くなく、カーブ部分であることから、作業スペースがあまり確保できず、苦労した。



1

1 - (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）芙蓉台28号線（三島市芙蓉台）交通量100台/日程度

恵明キッズフォウビレッジに通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月5日）
（合同点検参加者：私立恵明キッズフォウビレッジ、三島警察署、市土木課、市地域協働安全課）

問い合わせ 三島市土木課
TEL: 055-983-2638
MAIL: doboku@city.mishima.shizuoka.jp

●具体策

外側線の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
24千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

外側線を設置したことにより、ドライバーに対する車両誘導効果があった。また、以前は路側帯がなかったが、路側帯の設置により、対策前より園児が安心して通行できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

合同点検後、緊急修繕費の活用により速やかに対策を実施し、園児の安全を確保した。（令和元年10月までに対策済み）



2

1- (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）3172号線（裾野市下和田）交通量300台/日程度

裾野市立富岡第二小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年8月27日）
 （合同点検参加者：小学校、裾野警察署、市学校教育課、市建設課、市建設管理課、市危機管理課）

問い合わせ
 裾野市建設部建設課
 TEL: 055-995-1827
 MAIL: kensetsu@city.susono.shizuoka.jp

●具体策
 歩道の設置
 ラバーポールの設置

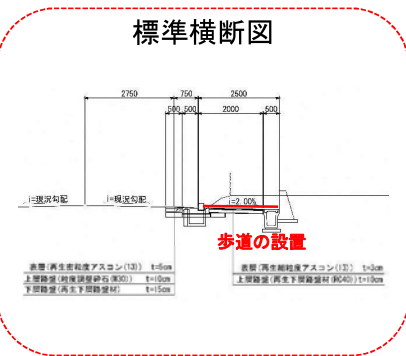
事業費	工事開始年度	工事終了年度
5,970千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

●苦労した点、工夫した点等

歩道を設置するだけでなく、交差点部にラバーポールを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。



1- (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）長貫19号線（富士宮市長貫）交通量200台/日程度

富士宮市立芝富小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年11月13日）
 （合同点検参加者：小学校、富士宮警察署、市学校教育課、市道路課、長貫区区长）

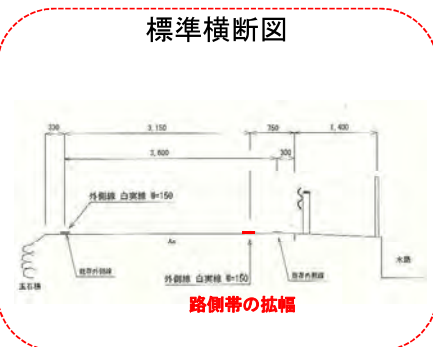
問い合わせ
 富士宮市道路課調査修繕係
 TEL: 0544-22-1240
 MAIL: doro@city.fujinomiya.lg.jp

●具体策
 路側帯の拡幅

事業費	工事開始年度	工事終了年度
900千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

路側帯が狭く歩行する際に車道にはみ出して歩く必要があり、車との接触が懸念された。路側帯の拡幅により、歩行空間が広がり、安心して登下校できるようになった。



1- (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（一）富士停車場伝法線（富士市伝法）交通量10,685台/日

あおば保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年8月28日）
（合同点検参加者：あおば保育園、富士警察署、富士市、県土木事務所）

● 具体策 転落防止柵の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
3,100千円	令和元年度	令和元年度

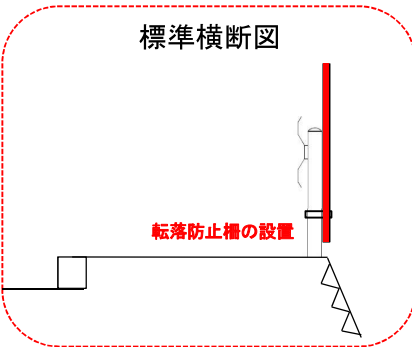
問い合わせ 富士土木事務所工事課
TEL: 0545-65-2894
MAIL: fujido-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

● 課題と整備効果

園児が散歩する際に、ガードレール奥側に転落する恐れがあった。転落防止柵を設置したことにより、転落の危険性がなくなり、安心して歩行できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

転落防止柵を既設ガードレールに固定させたことで、基礎部分の工事が省略できたため、事業費の縮減につながった。



整備前



整備後

1- (1) - ① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（主）袋井春野線（森町飯田）交通量9,705台/日

飯田幼稚園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月11日）
（合同点検参加者：幼稚園、袋井警察署、町教育委員会、町建設課、県土木事務所）

● 具体策 ガードパイプの設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
700千円	令和元年度	令和元年度

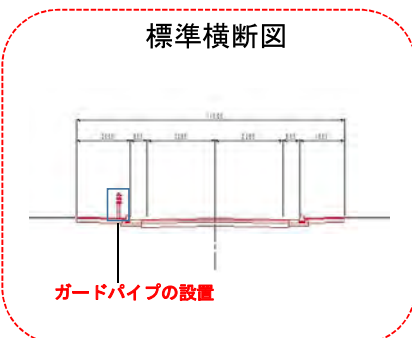
問い合わせ 袋井土木事務所企画検査課
TEL: 0538-42-3216
MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

● 課題と整備効果

T字交差点の歩車道境界にガードパイプを設置したことにより、右折車両の歩道への進入を防止し、園児が安心して通行できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

設置範囲について、T字交差点右折車両が曲がり切れずに歩道に進入することをイメージし、設置延長を長くした。



整備前



整備後

ガードパイプの設置

1-(1)-② 安全な歩行空間の確保（中長期対策）

（町）527号線（清水町徳倉）交通量100台/日程度

清水町立南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年9月30日）
 （合同点検参加者：小学校及びPTA、沼津警察署、町教育委員会、町建設課、県土木事務所）

問い合わせ 清水町建設課
 TEL: 055-981-8229
 MAIL: koumu@town.shizuoka-shimizu.lg.jp

- 具体策
 幅員の再構成
 （両側歩道→片側歩道）
 ラバーポールの設置

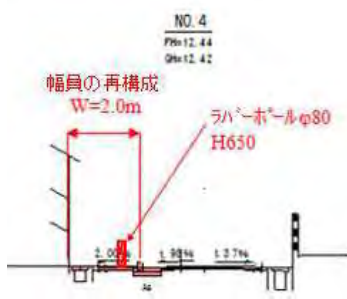
事業費	工事開始年度	工事終了年度
9,304千円	平成26年度	平成28年度

- 課題と整備効果
 歩行者のすれ違いが困難な両側歩道であったが、片側に集約し2.0mの歩道を整備したことで、歩行者の安全を確保できた。

- 苦労した点、工夫した点等
 幅員の再構成をするだけでなく、交差点部にラバーポールを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。



標準横断面



整備前



整備後



幅員の再構成
 ラバーポールの設置

1-(1)-② 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）水戸島二丁目6号線（富士市水戸島二丁目）交通量200台/日程度

富士市立富士第二小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年9月12日,16日）
 （合同点検参加者：小学校、富士警察署、市学務課、市道路維持課、市市民安全課、県土木事務所）

問い合わせ 富士市道路維持課
 TEL: 0545-55-2832
 MAIL: ke-douroji@div.city.fuji.shizuoka.jp

- 具体策
 歩行空間の確保

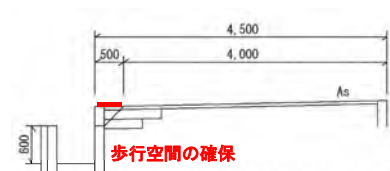
事業費	工事開始年度	工事終了年度
2,500千円	平成29年度	平成31年度

- 課題と整備効果
 歩行者の通行する場所が狭く車両が通過する際に水路へ落下する危険があったが、路肩の段差を解消することでリスクを軽減させた。

- 苦労した点、工夫した点等
 当初は中長期対策の水路の暗渠化であったが、事業費および事業期間が掛かるため、関係者と再協議の結果、短期対策の路肩の整備をすることとなった。



標準横断面



整備前



整備後



1-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）立野お吉ヶ淵線（下田市河内） 交通量500台/日程度

下田市立稲生沢小中学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成28年10月31日）
 （合同点検参加者：小学校、下田警察署、市学校教育課、市建設課、県土木事務所）

問い合わせ 下田市建設課
 TEL: 0558-22-2219
 MAIL: kensetsu@city.simoda.lg.jp

●具体策 路肩のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事終了年度
31,300千円	平成29年度	平成30年度

●課題と整備効果

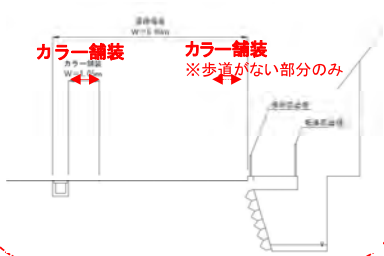
路肩にカラー舗装したことにより、ドライバーに対して歩行者への注意を促し、安心して登下校できるようになった。

●苦勞した点、工夫した点等

カラー舗装工の採用色について、景観審議会にかけ安全面だけでなく景観にも配慮した。



標準横断図



整備前



整備後



9

1-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（一）沼津小山線（御殿場市西田中） 交通量8,000台/日程度

社会福祉法人雲柱社高根学園保育所の施設外活動における交通事故対策（合同点検：令和元年8月27日）
 （合同点検参加者：保育所、御殿場警察署、市くらしの安全課、市管理維持課、県土木事務所）

問い合わせ 沼津土木事務所御殿場支所
 TEL: 0550-84-6100
 MAIL: numado-gotenba@pref.shizuoka.lg.jp

●具体策 ラバーポールの設置

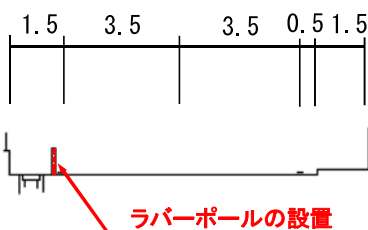
事業費	工事開始年度	工事終了年度
120千円	令和2年度	令和2年度

●課題と整備効果

交差点左折車が路側帯側にはみ出すことで、歩行者との接触の危険性があった。ラバーポールを設置することにより、左折車に対する路側帯への通行を抑制を促したことで、園児が安心して歩行できるようになった。



標準横断図



整備前



整備後



10

1-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

(一) 原木沼津線（清水町徳倉地先）交通量10,000台/日程度

清水町立南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年11月14日）
（合同点検参加者：小学校、沼津警察署、町建設課、町教育総務課、県土木事務所）

問い合わせ 沼津土木事務所工事第1課
TEL: 055-920-2215
MAIL: numado-kouji1@pref.shizuoka.lg.jp

●具体策

ドットライン設置
ラバーポールの設置
反射塗料塗布

事業費	工事開始年度	工事終了年度
1,000千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

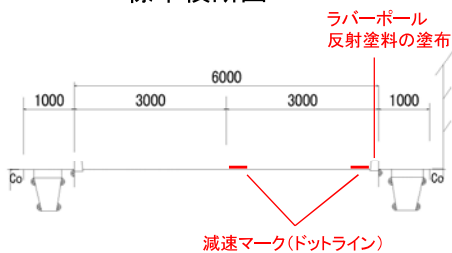
歩道が整備されているが、車通りの多いカーブ区間で車速が出やすい場所であった。ドットラインやラバーポールの設置、また夜間に光る反射塗料を縁石部に塗布することで、ドライバーに注意を促し、安心して登下校できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

自動車の速度抑制対策としてドットラインのみを施工する計画であったが、その後同地点で自動車の単独事故（死亡事故）が発生した。冬場の薄暗い時期の下校等を考慮し、夜間の視認性向上を目的としたラバーポール、反射塗料の塗布を実施した。



標準横断面図



整備前



整備後

1-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

(町) 城山尾尻線（長泉町下長窪）交通量7,500台/日程度

長窪保育園の駐車場から園への横断歩道における交通安全対策（合同点検：令和元年9月17日）
（合同点検参加者：保育園、裾野警察署、町こども未来課、町地域防災課、町建設計画課、町工事管理課）

問い合わせ 長泉町地域防災課
TEL: 055-989-5505
MAIL: bousai@town.nagaizumi.lg.jp

●具体策

車道のカラー舗装

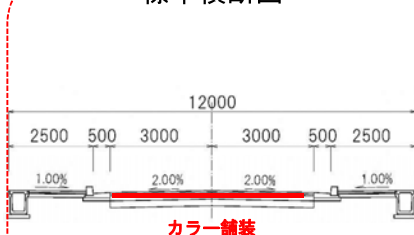
事業費	工事開始年度	工事終了年度
480千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

歩行者が横断しようとしたところ、車両が停車しないため、安全を確保できないことがあり、横断歩道手前のドットラインに加えて、カラー舗装することで、ドライバーに注意を促し、園児がより安心して通行できるようになった。



標準横断面図



整備前



整備後

1-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）1080号線（焼津市上泉）交通量300台/日程度

焼津市立大井川西小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年7月11日）
 （合同点検参加者：小学校、焼津警察署、市学校教育課、市くらし安全課、市土木管理課、市河川課、市道路課、県土木事務所）

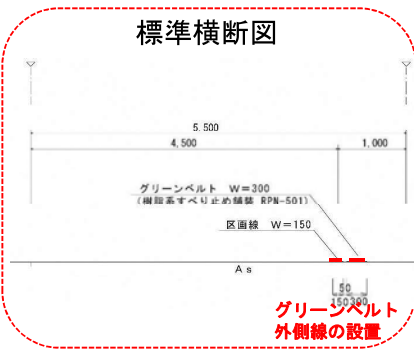
問い合わせ 焼津市道路課
 TEL: 054-626-2109
 MAIL: douro@city.yaizu.lg.jp

- 具体策
 外側線の設置
 グリーンベルトの設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
5,351千円	令和元年度	令和元年度

● 課題と整備効果

以前は路側帯がなかったが、グリーンベルトと外側線の設置をしたことにより、ドライバーに対する歩行者の注意を促し、対策前より児童が安心して登下校できるようになった。



1-(2)-② 自動車に対する注意喚起（中長期対策）

（町）232号線（清水町長沢）交通量100台/日程度

清水町立西小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年9月30日）
 （合同点検参加者：小学校及びPTA、沼津警察署、町教育委員会、町建設課、県土木事務所）

問い合わせ 清水町建設課
 TEL: 055-981-8229
 MAIL: koumu@town.shizuoka-shimizu.lg.jp

- 具体策
 グリーンベルトの設置
 側溝蓋の設置

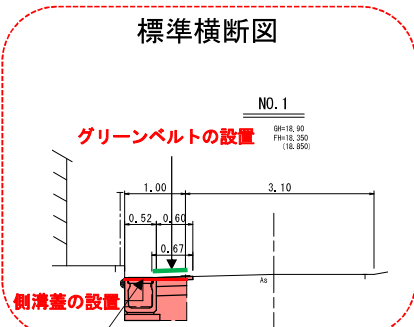
事業費	工事開始年度	工事終了年度
12,334千円	平成26年度	平成28年度

● 課題と整備効果

路側帯にグリーンベルトを設置したことにより、ドライバーに対して歩行者への注意をより強く促し、児童が安心して登下校できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

工事箇所が小学校に隣接していることから、登下校時の通学児童の安全確保のため、交通誘導員を多く配置した。



1-(3)-① 自動車の視認性の向上（短期対策）

（市）吉佐美田牛線（下田市吉佐美）交通量500台/日程度

下田市立朝日小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月15日）
（合同点検参加者：小学校、下田警察署、市学校教育課、市建設課、県土木事務所）

問い合わせ 下田市建設課
TEL: 0558-22-2219
MAIL: kensetsu@city.shimoda.lg.jp

- 具体策
カーブミラーの移設
外側線の引き直し
車道のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事終了年度
1,500千円	平成26年度	平成27年度

● 課題と整備効果

カーブ地点であったため、視認性が高いとは言えなかったが、カーブミラーを移設したことにより、ドライバーが児童をより確実に視認することができるようになった。また、外側線の引き直しにより、車の走行位置がより明確になったことや車道をカラー舗装したことにより、ドライバーに対する速度抑制を促したことで、安心して登下校できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

視認性の向上に加え、カラー舗装を設置したことにより、横断歩道前の減速を促した。



標準横断面図



1-(3)-① 自動車の視認性の向上（短期対策）

（市）本市場大淵線（富士市伝法）交通量200台/日程度

富士市立丘小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成30年6月14日）
（合同点検参加者：小学校、丘地区PTA会長、丘地区傘木区長、富士警察署、市学務課、市道路維持課、市市民安全課、県土木事務所）

問い合わせ 富士市道路維持課
TEL: 0545-55-2832
MAIL: ke-douroji@div.city.fuji.shizuoka.jp

- 具体策
草刈りの実施

事業費	工事開始年度	工事終了年度
116千円	平成30年度	平成30年度

● 課題と整備効果

見通しが悪く、歩行者を視認しにくい状況であった。草刈りを実施したことにより、道路の見通しが向上し、ドライバーが歩行者を視認しやすくなり、安心して登下校できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

隣接する調整池にも草が繁茂していたため、管理者である市河川課と協議を行い、同時施工したことで効果を高めた。



1-(4)-① 自転車と歩行者の接触防止

(市) 0232号線 (沼津市柳町) 交通量8,000台/日程度

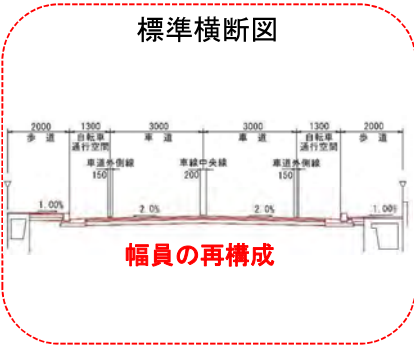
沼津市立金岡小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成28年12月13日)
 (合同点検参加者:小学校、沼津警察署、市教育委員会、市維持管理課、市地域自治課)

問い合わせ 沼津市建設部道路管理課
 TEL:055-934-4790
 MAIL: doukan@city.numazu.lg.jp

● 具体策 道路改良工(幅員再構成)の推進	事業費	工事開始年度	工事終了年度
	240,000千円	平成24年度	令和2年度

●**課題と整備効果**
 歩道幅員が十分に確保されておらず、自動車・自転車や歩行者が輻輳し、危険な状況であった。幅員の再構成を実施し、自動車・自転車・歩行者の通行位置を明確にすることにより、安全に歩行者が通行できるようになった。

●**苦勞した点、工夫した点等**
 隣接する小学校の指定通学路であることや幹線道路であり、車両の交通量が多いことなどから、工事に伴う交通渋滞や歩行者の安全確保について懸念された。着手にあたり、自治会・小学校・関係機関と協議を重ね、施工中の安全な歩行空間の確保や渋滞が発生しないよう迂回路の確保等、規制計画を検討し施工を実施した。



1-(4)-① 自転車と歩行者の接触防止

(市) 葦434号線 (伊豆の国市南條)

伊豆の国市立葦山南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和元年9月5日)
 (合同点検参加者:小学校、大仁警察署、市学校教育課、市地域づくり推進課、市建設課、県土木事務所)

問い合わせ 伊豆の国市建設課
 TEL:055-948-2908
 MAIL: kensetu@city.izunokuni.lg.jp

● 具体策 注意喚起シールの設置	事業費	工事開始年度	工事終了年度
	94千円	令和元年度	令和元年度

●**課題と整備効果**
 駐輪場が近く、自転車と歩行者がすれ違う箇所であるが、道幅が狭く、ボールの設置等の対策が困難であった。注意喚起シールを設置したことにより、自転車が注意して通行するようになり、歩行者が安心して通行できるようになった。

●**苦勞した点、工夫した点等**
 道幅が狭く、ポールや注意看板等スペースを必要とする対策が困難であった。



1-(4)-① 自転車と歩行者の接触防止

(市) 蓮ノ前方吹線 (菊川市加茂)

菊川市立加茂小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和元年7月22日)
(合同点検参加者:小学校、菊川警察署、市学校教育課、市建設課)

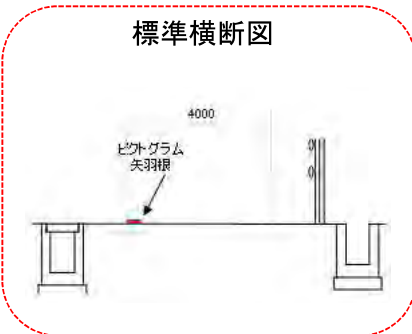
問い合わせ 菊川市建設課
TEL:0537-35-0902
MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp

- 具体策
ピクトグラム設置
矢羽根の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
410千円	令和元年度	令和元年度

● 課題と整備効果

自転車の走行位置が明確でなく、歩行者との接触の可能性が高い状況にあった。ピクトグラムと矢羽根を設置し、自転車利用者に対して走行位置を示し、歩行者との接触の可能性を低下させた。



2-(1)-① 安全な歩行空間の確保 (短期対策)

(町) 加納前ノ原線 (南伊豆町加納) 交通量2,500台/日程度

南伊豆町立南中小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成24年8月23日)
(合同点検参加者:下田警察署、町総務課、町建設課、教育委員会事務局、県土木事務所)

問い合わせ 南伊豆町地域整備課
TEL:0558-62-6277
MAIL: tseibi@town.minamiiizu.shizuoka.jp

- 具体策
歩行者溜まりの設置

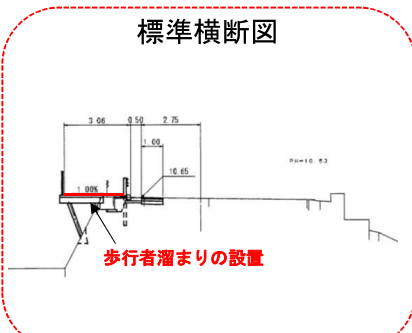
事業費	工事開始年度	工事終了年度
5,000千円	平成25年度	平成25年度

● 課題と整備効果

歩行者溜まりがなく、横断歩道前で待機する場所が狭く車両と接触する可能性が高かった。歩行者溜まりを整備することにより、安心して待機できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

対策コストを縮減するため、用地補償を必要としない張出歩道とした。



2-(1)-① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）藤枝葉梨線（藤枝市若王子三丁目）交通量15,000台/日程度

藤岡幼稚園、藤枝保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年6月12日）
（合同点検参加者：幼稚園、保育園、藤枝警察署、市児童課、市道路課）

問い合わせ
藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
TEL: 054-643-3169
MAIL: doro@city.fujieda.lg.jp

- 具体策
ガードパイプの設置
車止めの設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
3,000千円	令和元年度	令和元年度

● 課題と整備効果

車両同士の接触事故発生時における歩道への侵入を防止するため、交差点の歩道内の老朽化したガードレールの取替、ガードパイプの設置、設置スペースがあまりない箇所には車止めを設置し、園児の安全性が向上した。

● 苦労した点、工夫した点等

蓮華寺池公園に近いため、既設の老朽化したガードレールを景観に配慮したガードパイプに改修した。



21

2-(1)-① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

（市）中平松東平松幹線（磐田市中平松）交通量3,500台/日程度

磐田市立竜洋東小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年8月27日）
（合同点検参加者：磐田警察署、市教育委員会、市道路河川課、市地域づくり応援課）

問い合わせ 磐田市道路河川課
TEL: 0538-37-4808
MAIL: dorokasen@city.iwata.lg.jp

- 具体策
車止めの設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
323千円	令和元年度	令和元年度

● 課題と整備効果

車止めを設置することにより、車が歩道に乗り上げた際も被害を抑えることができるようになったため、信号待ちの児童が安心して待機できるようになった。

● 苦労した点、工夫した点等

ガードパイプの設置を検討したが、地下埋設物があり車止めを設置した。



22

2-(1)-① 安全な歩行空間の確保（短期対策）

(一) 磐田掛川線（袋井市浅岡） 交通量14,134台/日

ルンビニ第二保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月4日）
 （合同点検参加者：保育園、袋井警察署、市すこやか子ども課、市建設課、県土木事務所）

問い合わせ 袋井土木事務所規格検査課
 TEL: 0538-42-3216
 MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

●具体策 外側線の引き直し

事業費	工事開始年度	工事終了年度
30千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

ドライバーが左折時に歩道付近を通ることがあり、歩道にいる園児が安心して信号待ちすることができなかった。交差点付近の外側線を引き直したことで、ドライバーに対する歩道付近への通行注意を促し、園児が安心して待機できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

巻き込み防止のため、左折車両が大回りするような位置に区画線を設置した。



2-(1)-② 安全な歩行空間の確保（中長期対策）

(市) 横岡新田1号線（島田市横岡新田） 交通量100台/日程度

島田市立五和小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成24年8月8日）
 （合同点検参加者：小学校、島田警察署、市学校教育課、市市民安心課、市建設課）

問い合わせ 島田市すぐやる課
 TEL: 0547-36-7181
 MAIL: suguyaru@city.shimada.lg.jp

●具体策 歩行者溜まりの設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
4,300千円	平成27年度	平成29年度

●課題と整備効果

歩行者溜まりがなく、横断歩道前で待機する場所が狭かったため、車両と児童が接触する可能性が高かった。歩行者溜まりを整備することにより、安心して児童が待機できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

道路用地の残地を活用した。



2-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）上多賀本線（熱海市上多賀）

交通量4,000台/日程度

熱海市立多賀小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月14日）
（合同点検参加者：小学校、熱海警察署、市学校教育課、市都市整備課、県土木事務所）

問い合わせ 熱海市都市整備課
TEL: 0557-86-6403
MAIL: toshiseibi@city.atami.shizuoka.jp

● 具体策

交差点部のカラー舗装
交差点鉤の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
990千円	平成27年度	平成27年度

● 課題と整備効果

児童下校時に交差点部が暗いため、児童が安心して歩行できなかった。交差点部に反射タイプのカラー舗装と交差点鉤を設置し、暗くなる時間帯でのドライバーに対する横断歩行者への注意を促し、安心して下校できるようになった。

● 苦勞した点、工夫した点等

暗い交差点を目立たせるため、薄層カラー舗装の仕様の比較検討を行い、夜間の視認性が高い炭化珪素質の反射タイプカラー舗装で施工した。



25

2-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）左城星3号線（伊東市玖須美元和田）

交通量200台/日程度

伊東市立南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年8月1日）
（合同点検参加者：小学校、伊東警察署、市教育委員会、市建設課、市危機対策課、県土木事務所）

問い合わせ 伊東市建設部建設課
TEL: 0557-32-1753
MAIL: kensetu@city.ito.shizuoka.jp

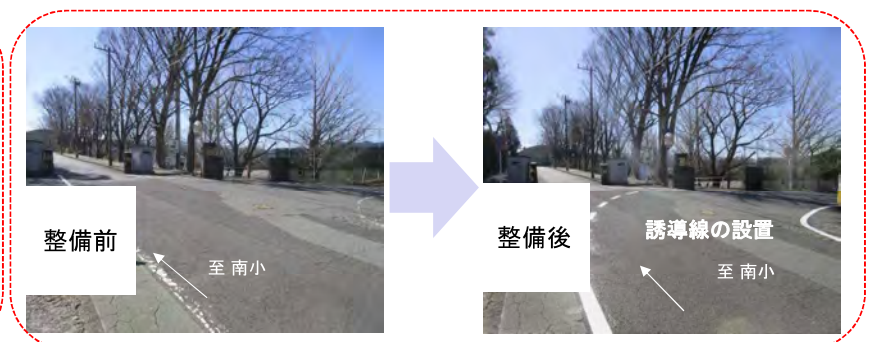
● 具体策

誘導線の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
30千円	令和元年度	令和元年度

● 課題と整備効果

主従道路の明示が不十分であったため、校門付近を車両が通行する時、児童との接触や巻き込み事故等が心配された。誘導線を設置し通行空間が明示されたことで運転者の徐行意識が向上し、安心して登下校できるようになった。



26

2-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）駅前柏久保線（伊豆市柏久保）

交通量6,000台/日程度

伊豆市立修善寺南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成29年2月28日）
（合同点検参加者：小学校、大仁警察署、市教育委員会、市建設課、市防災安全課、県土木事務所）

問い合わせ 伊豆市建設課
TEL: 0558-83-5201
MAIL: kensetsu@city.izu.shizuoka.jp

●具体策

交差点部のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事終了年度
2,443千円	平成29年度	平成29年度

●課題と整備効果

道路形状が変則的であるため、横断歩道を児童が安心して歩行できなかった。カラー舗装を施工することで交差点内に進入するドライバーに減速を促すとともに、歩行者への注意を高めることができ、児童が安心して登下校できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

交通量が多いため車両全面通行止めにて施工したが、学校を訪れる車両（給食配送車等）への時間調整に苦労した。



平面図



整備前



整備後



27

2-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（市）1地区357号線（藤枝市水守）

交通量2,000台/日程度

藤枝市立広幡小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年12月13日）
（合同点検参加者：小学校、藤枝警察署、市教育委員会、市道路課、水守町内会）

問い合わせ 藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
TEL: 054-643-3169
MAIL: doro@city.fujieda.lg.jp

●具体策

横断指導帯の設置

事業費	工事開始年度	工事終了年度
154千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

道路内を児童が横断せざるを得ない道路形状であるため、車との接触が懸念された。歩道と歩道の上に横断指導帯を設置したことにより、ドライバーに対する道路を横断する児童への注意を促し、安心して登下校できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

施工にあたり、水守町内会、藤枝警察署、市道路課で立会いにより施工内容を検討し、交通安全施設として問題なく、また地域の意向を満たすことができる施設整備ができるよう心掛けた。



整備前



整備後



28

2-(2)-① 自動車に対する注意喚起（短期対策）

（国）150号（牧之原市静波） 交通量15,000台/日程度

牧之原市立川崎小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年10月15日）
（合同点検参加者：小学校、牧之原警察署、牧之原市、県土木事務所）

問い合わせ
島田土木事務所工事第3課
TEL: 0547-37-1087
MAIL: shimada-kouji3@pref.shizuoka.lg.jp

●具体策 ラバーポールの設置

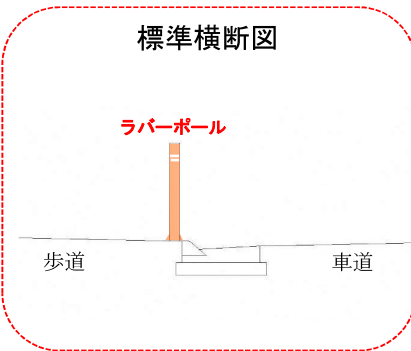
事業費	工事開始年度	工事終了年度
74千円	令和元年度	令和元年度

●課題と整備効果

車が左折時に歩行者溜まり付近を通行することが多く、児童が安心して信号待ちできなかつた。交差点巻き込み部にラバーポールを設置したことにより、ドライバーに対する児童への注意を促し、安心して登下校できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

学校関係者等と立ち合いのもと、横断歩道の位置や自転車の通行等を考慮し、最適な対策を決定した。



29

2-(3)-① 自動車の視認性の向上（短期対策）

（一）松崎港線（町）松崎銀座線（松崎町松崎） 交通量800台/日程度

松崎町立松崎小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月30日）
（合同点検参加者：小学校、松崎警察署、町教育委員会、町産業建設課、町総務課、県土木事務所）

問い合わせ 松崎町産業建設課
TEL: 0558-42-3965
MAIL: kensetsu@town.matsuzaki.lg.jp

●具体策 カーブミラーの調整

事業費	工事開始年度	工事終了年度
0円	平成26年度	平成27年度

●課題と整備効果

T字路となっている箇所では道路幅員もありカーブミラーの位置調整が難しく、以前は低い位置に設置していた。今回、大型車が接触する事例もあり、さらに視界の良い高い位置につけたカーブミラーの調整によりドライバーが確実に児童を視認できるようになった。

●苦労した点、工夫した点等

職員がカーブミラーの調整をすることで、事業費をかけずに交通安全対策を行うことができた。



30

3 道路管理者以外の交通安全対策実施事例一覧

事業主体	実施効果	実施内容
学校	歩行者に対するルール、マナーの徹底	交通ルールマナー講習
		自転車の乗り方指導
		児童に歩き方指導
		登下校時の見守り隊による指導
	歩行者に対する注意喚起	歩道にマークをつける
	経路変更による歩行者の安全性向上	通学路の変更
警察	ドライバーに対する信号機の視認性向上	信号灯器のLED化
		信号背面板の設置
	ドライバーに対する歩行者の視認性向上	横断歩道の位置見直し
		自発光標識の設置
	ドライバーに対する道路標示の視認性向上	道路標示の高輝度化
	歩行者の安全性向上	信号機の設置
		ゾーン30の設置
		横断歩道の設置
	信号待ち時間を適切に分ける	信号の秒数調整
		歩車分離式信号機の設置
通学時における安全な歩行時間の確保	歩行者専用道路の時間規制	
市町 (道路管理者以外)	自転車に対する注意喚起	のぼり旗の設置
	歩行者に対するルール、マナーの徹底	見守り隊による指導

※事例一覧は市町から提出された通学路合同点検の要対策箇所一覧表を基に作成

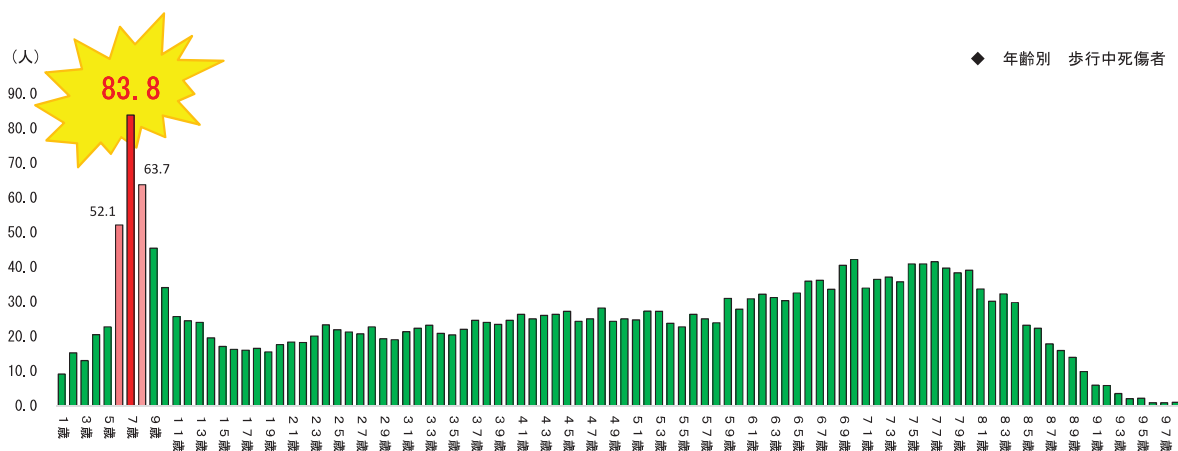
静岡県の小学生歩行中事故

～登下校中の交通事故を防ぐために～



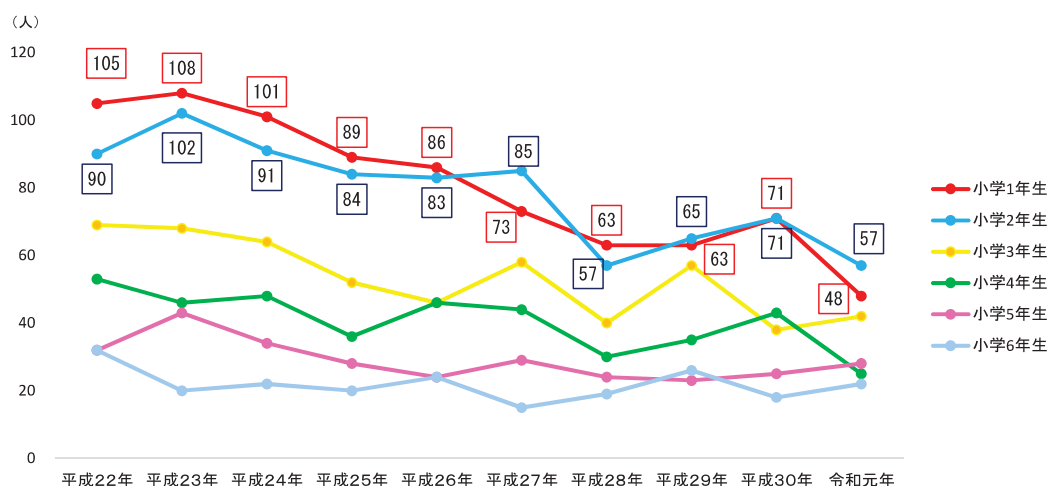
静岡県警察本部交通部交通企画課

歩行中の交通事故死傷者数 (過去10年の年平均 H22-R1)



◆ 歩行中の死傷者を年齢別にみると「7歳」の死傷者が突出している。

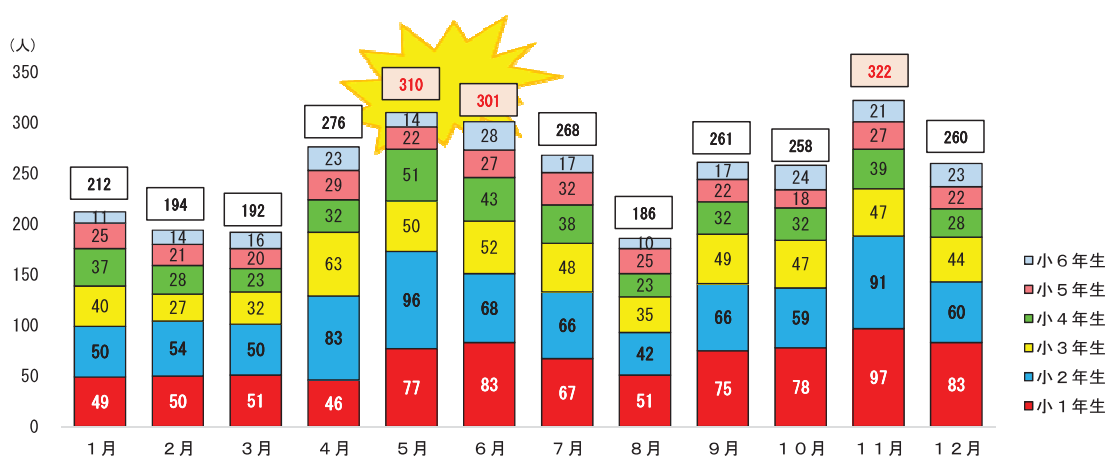
小学生の歩行中事故 ～学年別死傷者数の推移（過去10年 H22-R1）～



◆ 過去10年で見ると、歩行中の死傷者数は減少しているものの低学年の事故の割合が高い。

参1-2

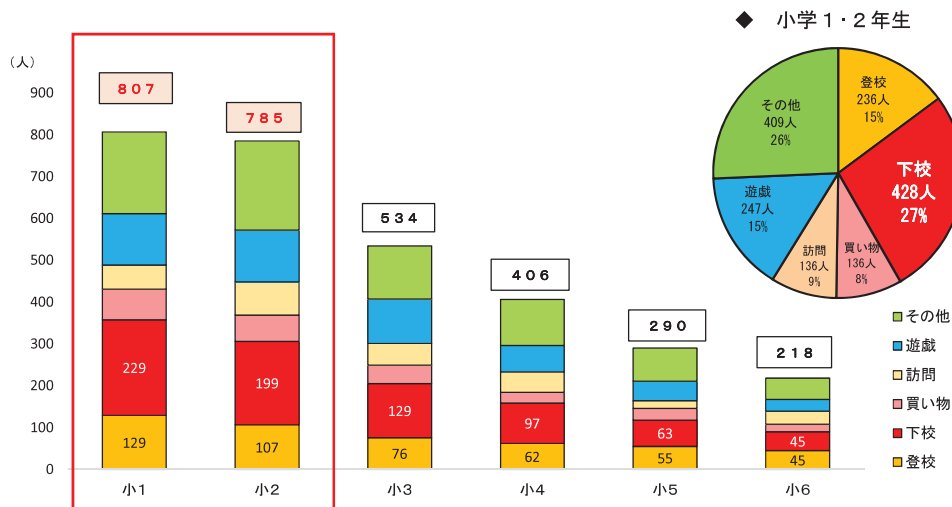
小学生の歩行中事故 ～月別 死傷者数（過去10年 H22-R1）～



◆ 小学生歩行中の事故は、新学年になり学校生活に慣れはじめた5月、6月に多く発生している。特に1, 2年生の事故が多い。

参1-3

小学生の歩行中死傷者の目的別 (学年別 過去10年 H22-R1)

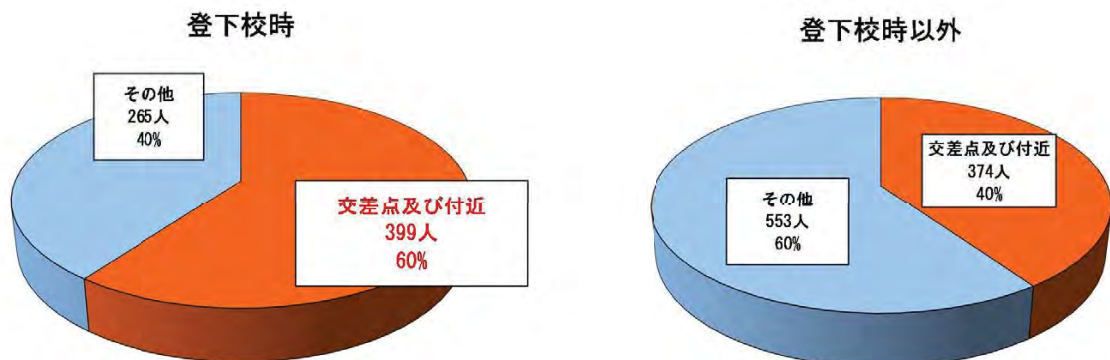


- ◇ 低学年の歩行中の死傷者が、全学年の半数以上を占める。
1・2年生の死傷者のうち、4割以上が登下校中の事故。

参1-4

小学1年生、小学2年生の歩行中事故 ～登下校時の交通事故の特徴①～

- ◆ 道路形状別 (過去10年 H22-R1)



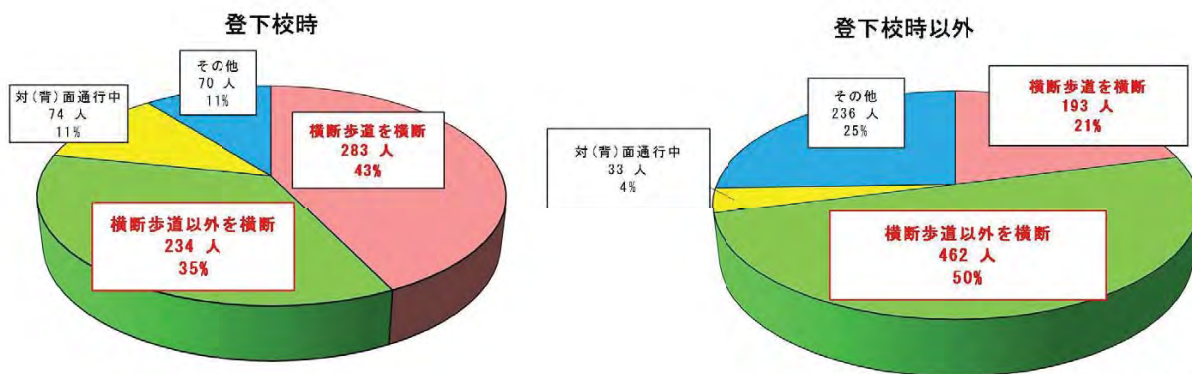
※ 調査不能を除く

- ◇ 登下校時は、交差点及び交差点付近で発生する事故の割合が6割で、登下校時以外と比べて高い割合で発生している。

参1-5

小学1年生、小学2年生の歩行中事故 ～登下校時の交通事故の特徴②～

◆ 状態別 (過去10年 H22-R1)



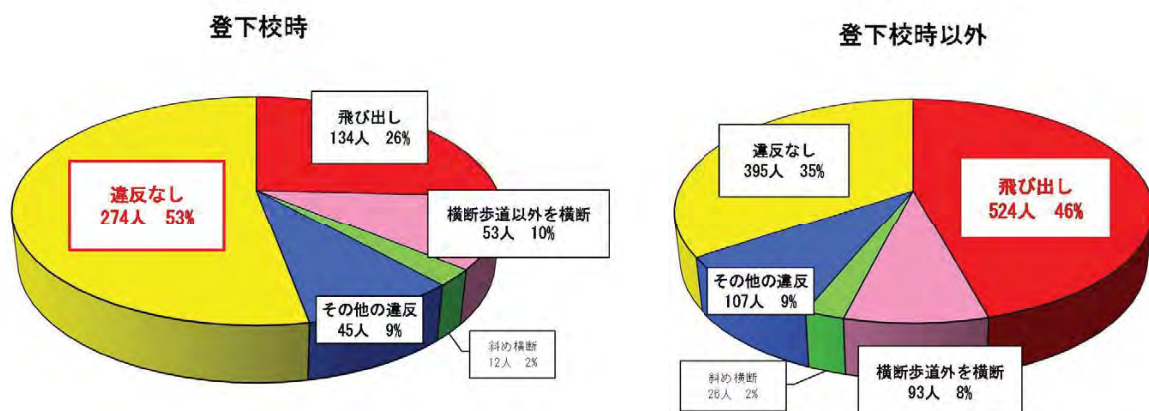
※ 調査不能を除く

◇ 登下校時の事故の約8割は、道路を横断中に発生し、登校時以外では横断歩道以外を横断の事故が半数を占める。

参1-6

小学1年生、小学2年生の歩行中事故 ～登下校時の交通事故の特徴③～

◆ 小学生側の原因別 (過去10年 H22-R1)



※ 調査不能を除く

◇ 登下校時の事故は、小学生側に「違反なし」が半数以上を占める。登下校時以外では、「飛び出し」が約半数を占める。

参1-7

★ 通学路を子供と一緒に歩いてみましょう！
危険な場所や安全が必要な場所は、具体的に
「どうして危ないのか」
「どのように注意したらいいのか」
を教えましょう！



★ 信号のある交差点での渡り方を教えましょう！
・どの信号を見て渡ればいいのか
・青色信号でも左右の安全確認
・信号待ちの時
など



★ 道路では遊ばないように教えましょう！



子供を交通事故から守るために！



★ 飛び出しの事故を防止するためには、
「止まる」「見る」「待つ」
の安全行動を分かりやすく教えましょう！



★ 道路横断中の事故を防止するためには、
「安全に渡る場所を教えましょう」
・横断歩道、横断歩道橋など、安全施設のある場所
・見通しのよい所で安全施設のない場所
「安全な渡り方を教えましょう」
・左右の安全確認
・横断する時は、手を上げる
・横断する前に必ず止まる
など



参1-8

県警ホームページから学校、自宅付近の危険な場所を探してみよう！



静岡県交通事故発生マップ

検索

交通事故発生マップ
QRコード



http://www.machi-info.jp/machikado/po/ico_pre_f_shizuoka/index.jsp

参1-9

【抜粋】信号機撤去後における安全対策事例集 ～信号機の合理化を的確に進めるために～

静岡県警察本部交通部交通規制課

安全対策例

見直し前







生活道路
(前 同)

見直し後



横断歩道の前出し、路側帯の拡幅

安全対策例

見直し前	見直し後
 	  <div data-bbox="1366 663 1497 719" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> カラー舗装 停止線まで </div>
<p>一灯点滅式信号 (事故多発交差点、主道路に縦断勾配あり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時停止標識、止まれ文字等の設置 ・従道路のカラー舗装化(視覚的な道路の連続性の解消、交差点の明確化)

参2-2

安全対策例

見直し前	見直し後
	
<p>必要性が低下した定周期式信号</p>	<p>外周発光式一時停止標識、止まれ文字、交差点クロスマーク等の設置</p>

参2-3

安全対策例

見直し前

見直し後



必要性が低下した一灯点滅式信号

一時停止標識、止まれ文字、強調表示、交差点クロスマークの設置